

1. 実施機関

国立大学法人名古屋大学

2. 企画名

名大 MIRAI GSC

3. 総合評価コメント

受講生の募集・一次選抜に関して、東海4県、名古屋市の教育委員会、高校等との有機的な連携により企画が効果的に周知されており、自己財源である第1ステージと上手く連動させて、多くの受講生を集めている点で優れている。また、全学的な実施体制を構築し、学内において取組の目的や意義が十分に共有され、理学・工学・医学・生命農学を始めとして幅広い分野の研究室と着実に連携し指導が行われていることも評価できる。さらに、研究活動において受講生の内面にも配慮し、専門家によるカウンセリングの体制が整えられている点も良い。

しかしながら、国際学会等での外国語による研究発表および外国語論文発表、国際的な科学技術コンテスト等の日本国内予選等への参加数の各数値目標が未達傾向にあることが懸念される。また、研究室での指導においては、受講生個々の能力を最大限伸長させるべく、引き続き状況に応じた個人単位の受け入れの検討が必要である。よって、今後、数値目標達成に向けた取組の企画・運営を期待するとともに、高い成果の創出を目指し、以下のような具体的な諸施策を実施していくことを求める。なお、実施体制について、企業を含めたより幅広い連携を期待する。